

【単元目標】

| 知識及び技能                                  | 思考力・判断力・表現力  | 主体的に学習に取り組む態度                                      |
|---|--|--|
| (1) ク<br>語のまとまりや言葉の響きなどに<br>気をつけて音読できる。 | C(1) イ<br>場面の様子や登場人物の行動な<br>ど、内容の大体を捉えている。<br>C(1) エ<br>場面の様子に着目して、登場人物<br>の行動を具体的に想像している。 | これまでの学習をいかし、場面の<br>様子に進んで着目し、好きな場面<br>を音読しようとしている。 |

【既習内容】

音読することや言葉に即して内容を捉えるなどの学  
習を積み重ねてきた。  
「おおきなかぶ」…音読劇  
「おむすびころりん」…好きな場面を選んでグルー  
プ音読  
「やくそく」…音読（話者を意識して）  
「くじらぐも」…音読（想像しながら）

【目指す子ども像】

|             |   |
|-------------|---|
| 主体的に学<br>ぶ姿 | ○その子なりに楽しく学習できる。<br>・めあてに向かって一生懸命取り組んでい<br>る。<br>(聞く・書く・読む・つぶやく・発言する)               |
| 対話的に学<br>ぶ姿 | ○友だちと伝え合うことを楽しめる。<br>・友だちに考えを伝えたい、友だちの考えを<br>知りたいという思いをもつ。<br>・伝えて合って良かったという思いをもつ。  |
| 深く学<br>ぶ姿   | ○比べて考えることができる。<br>・自分と友だちの考えが同じか違うかに気づ<br>くことができる。<br>・気づきをもとに自分の考えを振り返ること<br>ができる。 |

【児童の実態】

・リズムのよい言葉や歌は繰り返し口ずさみ、楽し  
く音読することができる。  
・自分の思いを書いたり、考えをまとめたりするこ  
とが苦手な子もいるため、個別の声かけが必要。  
・自分の考えを伝えたいという思いはもっている  
が、友だちの考えと比べるという経験が少ない。

【学習計画】

| 段階      | 学習テーマ           | 主発問と<br>主な学習活動  | 目指す子ども像に向けた学習内容と予想される子どもの反<br>応   | 評価規準  |
|---------|-----------------|---|---|---|
| つかむ・見通す | すきなところを楽しく音読しよう | ① 範読を聞き、感想<br>を伝える。<br><br>② それぞれの場面<br>のあらすじをと<br>らえ、学習の見通<br>しをもつ。<br><br><b>おはなしの<br/>「すきなところ」を、音読劇<br/>で伝えよう。</b> | <p>【主体的な学び】<br/>「たぬきの糸車」の<br/>範読を聞き、面白か<br/>ったところや好きな<br/>ところの視点で感想<br/>を伝え合う。※一文<br/>でまとめる。</p> <p>【主体的な学び】<br/>「たぬきの糸車」はど<br/>んなお話か登場人物や<br/>あらすじをとらえ、楽<br/>しく音読したいところ<br/>を選ぶ。(1回目)</p> <p>糸車を回すところを音読劇にしてみたい。<br/>畏から逃がしてもらえて良かったね。<br/>うれしそうに帰るたぬきがかわいいと思<br/>った。<br/>キークルクルが面白いから工夫して読ん<br/>でみたい。<br/>おかみさんがたぬきを逃がしてあげたと<br/>ころが、おかみさんが優しいから好き。</p> | <p>・本文に出てくる言<br/>葉を楽しみながら、<br/>進んで読もうとして<br/>いる。【主】発言・観察</p> <p>・話の大体をとらえ、<br/>楽しく音読したいと<br/>ころを選び記述して<br/>いる。<br/>【思】観察・記述</p> |

・③グループごとに課題を決め、音読の工夫を考えて練習する。(1回目)

・④グループごとに課題を決め、音読の工夫を考えて練習する。(2回目) **本時**

・⑤グループごとに課題を決め、音読の工夫を考えて練習する。(3回目)

・⑥グループごとに課題を決め、音読の工夫を考えて練習する。(4回目)

⑦ 楽しく音読したいところや選んだ理由を伝え、音読の工夫を確認する。

⑧ ⑨音読劇の練習をし、伝え合う。(練習・発表)

⑩ 振り返り

**【主体的な学び】**  
擬音や擬態語、会話文に着目しながら楽しく音読する。

キーカラカラ キークルクルのところはどのように読んだら良いかな。

**【対話的な学び】**  
動作化して登場人物になりきり、叙述に即して読み広げていく。

くるりくるりのところで、一緒に目玉を回せば良いんじゃない。

**【対話的な学び】**  
叙述や挿絵から気づいたことを交流し、音読の工夫を考える。

驚いたおかみさんの様子が伝わるように、山のように大きな声で読むといいかも。

**【対話的な学び】**  
友だちからももらったアイデアを取り入れながら、楽しく音読するために繰り返し練習する。

おかみさんの気持ちが伝わるように、せりふをゆっくり読んでみよう。

上手な友だちの音読を真似してみよう。

・主語や述語を意識し、言葉の響きに気をつけて音読している。**【知】** 発言・観察

・登場人物の行動や会話に気をつけて読み、音読のアイデアを考えている。

**【思】** 発言・観察

・友だちの音読の良いところを見つけたり、考えたりしたことを伝えている。

**【思】** 発言・観察

**【対話的な学び】**  
友だちに伝えるという目的意識をもち、理由を明確にしながら自分の考えを伝える。(2回目)

二つの目玉がくるりくるりと回るところが面白いから、そこを選んだよ。

**【深い学び】**  
友だちの意見から他者の読み取りを感じ、自分の考えと比べながらどこを音読したいか再度考える。

うれしそうに踊りながら帰っていきたくぬぎのまねをしたいから、最後のところにするよ。

・選んだ理由を明確にしながらか自分の好きなどころを伝えていく。**【知】** 発言・記述

・今までの学習で出されたアイデアを取り入れ、楽しみながら音読劇で伝え合っている。

**【知】** 発表・観察

**【対話的な学び】**  
自分の好きなどころを音読劇にして表現したり、友だちの劇を見たりすることによって、伝え合うことを楽しむ。

たぬぎを逃がしてあげるおかみさんのせりふは、優しく言ってみよう。

たぬぎが糸車を回すところは、楽しそうにしたら良いかな。

**【主体的な学び】**  
登場人物の様子がよく分かるようにせりふや動作を考える。

同じ場面でも、友だちとせりふの言い方が違うね。

・友だちの音読劇を見て感想を伝え合うことの楽しさを感じている。**【思】** 発言・記述

